

topic

2 町史値下げしました!

これまで発刊されている町史が、昨年12月1日より値下げし、お求めやすくなっています。ぜひ、一読して西原を知ってください。



『西原町史』

第2巻「西原の文献資料」	¥2,500→¥1,500-
第3巻「西原の戦時記録」	¥2,500→¥1,500-
第4巻「西原の民俗」	¥3,000→¥1,800-
第5巻「西原の考古」	¥2,000→¥1,200-
第6巻「西原の移民記録」	¥2,000→¥1,200-
第7巻「西原の産業」	¥1,500→ ¥900-
別巻「西原の民話」	¥3,000→¥1,800-
『戦災被災者記録』	¥1,500→ ¥900-
付属刊行物「西原町の自然」	¥500→ ¥300-
ガイドマップ「西原の歴史と文化」	¥100-

図書館にて発売中!

topic

1 カムイ焼レプリカ作成

昨年12月20日、町の指定文化財であるカムイ焼のレプリカを作成しました。町立図書館内の地域情報コーナーでみることができます。

県内でもめずらしい完全形であるこのカムイ焼は、字内間のカヤブチウドゥン近くから発見されました。

カムイ焼は、広く南西諸島に分布しており、鹿児島県徳之島では、カムイ焼が製作された古窯が100基あまり確認されています。

また、カムイ焼は、グスクやグスク時代の遺跡から、長崎県産の石なべや中国の陶磁器などとともに発見されており、当時の人々が本土や外国とさかんに貿易を行っていたことがわかります。



どれが本物かな?

topic

3 ハル石の寄贈がありました

昨年11月26日、字津花波在住の長嶺さんより、王府時代、土地の測量や境界として使用されたハル石の寄贈がありました。

ニーピヌフニ（微粒砂岩）製の石面には「ろ つはなは原」と明記されています。町内では12基のハル石が確認されており、そのうち今回寄贈された石を含めて8基が町立図書館で保管されています。

ハル石は、各間切（現在の市町村）に200から300基ほど設置され、畑の面積をはかるほか、間切境や、川、山野、宿道などの境界として、直径1.8メートルほどのまるく石積みされた土手の上にたてられていたようです。今帰仁村古宇利島や宜野湾市伊佐では、ハル石とともに、土手も確認されています。建立当時の土手が現存するのはめずらしく、残念ながら西原町では発見されていません。

ハル石に彫りこまれた文字は、カタカナ、ひらがな、変体かなで記されており、その書き分けの意味や種類、地名や当時の農業政策など解明すべき課題が残されている資料といえ、その所在や建立状況などを明確に記録しておく必要があります。町史編集係では、今後もこの石の調査・記録保存および収集につとめていきますので、みなさんもこんな石を見かけたら、ぜひご一報くださいね。



こんな石、見たことある?